

# 不幸な野良猫を 減らそう



飼い主のいない猫（いわゆる野良猫）が繁殖し、猫を迷惑に思っている人と、不幸な猫に心を痛めている人との考え方の違いから、相談が多く寄せられています。野良猫で迷惑している人も、かわいそうな猫を助けたい人も、共通する気持ちは、「不幸な猫（飼い主のいない猫）を減らしたい」ということです。

しかし実際に野良猫の数を減らしていくには時間を必要とします。これ以上猫を増やさないと、エサやりによる迷惑を防止するなど、地域のトラブル防止に取り組みましょう。

## 屋外での無責任なエサやりはやめましょう

お腹を空かせた猫が目の前にいれば、ついエサを与えたくくなります。しかし、不妊手術をせずにエサを与え続けられれば、猫はその場に居着き、繁殖し、あっといいう間に数が増えてしまいます。

すると近隣住民の敷地内などでふん尿をする・車などで爪とぎをする・花壇を荒らすなどして、猫を迷惑なものと感じる人が増えていきます。

それだけでなく、猫同士の喧嘩けんかによる怪我けが、感染症や交通事故が起こる確率が高まったり、エサの放置により、カラスなど猫以外の動物が集まってくることもつな갑니다。

その結果、無責任なエサやりによる「かわいそう」な猫がさらに増えることになってしまいます。

## 猫の飼い主の方へお願い



## 不妊手術をしましょう

不妊手術をすることにより、繁殖のための争いやストレスを軽減することができます。できるだけでなく、発情期の鳴き声やスプレー行為なども抑えられます。尿の臭いも抑えられるとも言われています。むやみに数を増やさず、適正な頭数を飼いましょう。

## 猫は室内で飼いましょう

屋外で飼育すると、他人の庭にふん尿をしたり、鳴き声などの迷惑をかけたりします。そのため猫がいじめられたりする危険性があります。また、交通事故に遭う可能性も高まり、感染症などで命を落とす危険もあります。

猫はエサが十分に得られれば、とくに広い生活空間は必要としないため、猫の健康と安全を守るためにも、室内で飼育しましょう。

# 毛呂山町さくらねこ無料不妊手術事業 (行政枠) について



毛呂山町では、地域に住み着いている飼い主のいない猫に不妊手術<sup>ほどこ</sup>を施し、これ以上増やすことなくその猫が命を全うするまで一代限りで、その地域において適切に管理していく地域猫活動を推進するため、令和2年4月1日より公益財団法人どうぶつ基金やTNR活動(※1)を行うボランティア団体と協働し「毛呂山町さくらねこ無料不妊手術事業(行政枠)」を開始しました。

この事業は、町が公益財団法人どうぶつ基金から受け取った無料不妊手術チケットをボランティア団体等の登録団体(※2)へ交付し、そのチケットを使い飼い主のいない猫に不妊手術を行うという事業です。

なお、不妊手術を受けた猫には、手術を受けたしるしとして、耳先を桜の花びらのような形にV字カットします。そのような猫を「さくらねこ」と呼んでいます。

Trap  
一時捕獲

Neuter  
不妊手術

Return  
元居た場所へ戻す

## ※1：TNR活動とは？

地域に住み着いている飼い主のいない猫を一時捕獲(Trap)し、不妊手術(Neuter)を行い、元居た場所へ戻す(Return)活動をTNR活動と呼び、こういった活動により飼い主のいない猫がこれ以上増えないようにすることで、猫による生活環境被害や殺処分数を減少させることをこの事業の趣旨としています。

## ※2：登録団体について

この事業を利用しようとするボランティア団体等は、役場生活環境課窓口で利用団体登録の届出を行ってください。詳しくは下記までお問い合わせください。

▶問合せ 役場生活環境課環境係 ☎049(295)2112 ☎171・172

公益財団法人どうぶつ基金  
について、詳細はホーム  
ページをご覧ください。

HP <https://www.doubutukikin.or.jp/>



猫(野良猫も含む)は愛護動物として動物の愛護および管理に関する法律によって守られており、町や保健所などで捕獲・殺処分することはできません。

